

Library Information

図書室からのお知らせ

■本の入荷について

図書室では、新刊本や話題の本など、新しい本を入荷しています。

本のリクエストについても、図書室カウンターにて受け付けています。皆さんの読みたい本や気になる本などありましたら、お知らせください。

また、お探しの本などがありましたら、お気軽にカウンターにご相談ください。

「命」と向き合う豊かな時間の物語
小川 糸 著 / 『ライオンのおやつ』

ポプラ社

小説

若くして余命を告げられた雫は、残りの日々を瀬戸内の島のホスピスで過ごすことを決めた。穏やかな景色の中、本当に良かったことを考える雫。ホスピスでは毎週日曜日、入居者がリクエストできる「おやつの日」があって…。自分や周りの人々の「命」といかに向き合うか、改めて考えさせられ、温かい読後感に包まれる1冊です

雨の日も楽しくなる絵本

しもかわら ゆみ 作 / 『ぼつぼつぼつだいじょうぶ?』



講談社

児童書

ぼつぼつぼつ、あめがふってきました。ねずみさん、うさぎさん、たぬきさん、きつねさんたちはだいじょうぶ? みんなのお気に入りのかさはなんでしょう? 動物たちを細密なタッチで愛らしく描いた、赤ちゃんから楽しめる絵本です。雨音の表現も豊かで、雨の変化を楽しめる、読み聞かせにおすすめの1冊です。

働きながら東大生になった郵便配達員の半生
小川 和人 著 / 『41歳の東大生』

草思社

一般書

妻子があり、郵便配達員として働きつつ、41歳の時に6年がかりで東京大学に合格した著者。どうやって昼間の仕事を続けながら大学に通い、4年間で卒業することができたのか。前代未聞の「学び直し」に挑んだ中年男性の実話。生涯、学問を学び続けた実父の影響を受けた著者の、「学問」がしたいという情熱が伝わってくる1冊です。

季節ごとに楽しめる素敵な花の折り紙

たかはし なな 著 / 『nanahoshiの花おりがみBOOK』



メイックユニバーサルコンテンツ

教養娯楽

カーネーション、ひまわり、金木犀、クリスマスローズ…。季節ごとにいろんなシーンで楽しめる、色使いの美しい花の折り紙27作品を紹介。カラーの図版と写真で手順を分かりやすく解説しています。和紙や和柄のものなども使い、リース、スワッグ、ガーランド、お正月飾りまで素敵にアレンジ。ぜひ、作ってみてください。

● 図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先
町生涯学習センター図書室
☎096-234-2447(内線331)

町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人5冊まで、15日間

今回も、図書室職員からおすすめの本です。前回と同じく、甲佐町出身の児童文学者・丘修三さんの作品を紹介させていただきます。

小学館文学賞受賞作「少年の日々」は、連作短編集で、その中の「紅鯉(べんごい)」は小学校高学年の教科書に掲載されていたので、ご存じの方もたくさんいらっしゃると思います。

昭和二十年代、豊かな自然のなかで少年時代を過ごした著者の、ある秋の一日の出来事が臨場感豊か

今月の案内人



松野 歩さん
〔町図書室職員〕

～ My Favorite Story ～
Read This Story!
私のおすすめ図書

『少年の日々』(丘 修三編)

昭和20年代、ゆたかな自然の中で少年は毎日、友だちと遊び動いていた。生き物の命がずっと身近だった戦後の熊本の生活があざやかによみがえる連作短編集4編。

に生き生きと描かれていて、まるでその場にいるようにドキドキハラハラさせられます。

他の3編も、戦後の甲佐の暮らしが鮮やかによみがえってくるようで読み応えがありますが、特におすすめしたいのが、あとがきです。「あのころは命が身近にありました」という豊かな少年時代を懐かしむ文章には、命に対する畏敬の念と、自分を育ててくれた故郷への感謝が

あって、とても魅了されます。たくさんの方に読んでいただきたい、おすすめの1冊です

● あなたの「おすすめ図書」をご紹介しますませんか?

町生涯学習センター図書室
☎096-234-2447(内線331)

Public Hall

町公民館からのお知らせ

▶ 町公民館からのご案内

公民館主催講座のご案内と開催自粛について

町公民館では、健康や歴史、福祉などの諸問題について講師を招いて学ぶ「町民大学」や町内外の歴史的な文化財や史跡を訪ねる「郷土の歴史を訪ねて」などの主催講座の開催にも取り組んでいます。

町では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、公共施設の貸し出しを人数制限や手指消毒の徹底などを条件に再開しています。

町公民館としても主催講座や自主講座の再開に向けて準備を進めているところです。

各講座の活動状況の詳細については、町教育委員会公民館事務局までお尋ねください。

- 公民館講座や町民大学などに関するお申し込み・お問い合わせ先
町教育委員会公民館事務局
☎096-234-2447(内線321)

現在10人が、静物や風景、草花などのテーマをそれぞれのペースで楽しく学んで



▲町生涯学習センターで展示された参加者の作品

手工芸教室「水墨画」の講座では、草花や静物、風景などを墨汁での描く方法について学ぶ講座です。現在7人の参加者が各自お好きなテーマを選んで作品作りに取り組んでいます。初めて参加された方も自分のペースで楽しみながら

- ▶ 代表 藤本賢治さん (緑町区)
- ▶ 開催場所 町民センター
- ▶ 開催日時 第1・3金曜日 午前9時30分～午前11時30分

町公民館自主講座③ 「水墨画」



▲甲佐の風景を描いた受講生の水墨画

健康で豊かな生き方を応援するため町公民館が実施する「公民館自主講座」についてご紹介します。手工芸教室「水彩画」講座では、水彩画の初歩から応用までを学ぶことができます。

- ▶ 町公民館自主講座② 「水彩画」
- ▶ 講師 松井天一さん (仁田子区)
- ▶ 開催場所 松井講師のアトリエ (仁田子)
- ▶ 開催日時 第2・3火曜日 午後1時30分～午後4時
- ▶ 第1・2・3水曜日 午前9時30分～正午

参加できません。出来上がった作品は、町生涯学習センター・ギャラリーモールや町産業文化祭などで展示しますので、ご興味のある方はぜひご参加ください。

Human Rights

人権 ～心豊かに暮らすために～

■高齢者の人権について考えましょう

日本の65歳以上の人口は、2018年4月現在では3,538万人、総人口に占める割合も28.0%と、65歳以上の人が4人に1人を超える超高齢社会となっており、2060年には2.5人に1人が65歳以上になると予測されています。高齢化は企業にも大きな影響を与えており、「団塊の世代」が一挙に定年を迎え、長年の経験から培った技能やノウハウが失われてしまわないか、次の世代にどのように伝えていけばよいのか、と

いった課題が持ち上がっています。

■働けるうちは働きたい
内閣府の調査(2014年)によると、高齢になっても自立した生活を保ち、生きがいを持つために働きたいという人が多くいます。経験や知識が豊富で、優れた技術を身につけた高齢者は貴重な労働力です。企業には、年齢にかかわらず誰もが働きやすい職場環境を整備することが、これまで以上に求められます。

■いくつになっても人間らしく生きる

健康で生きがいを持つ高齢者がいる一方で、病気や加齢で心身・判断

力が弱ったり、孤独感や不安を抱えている高齢者もいます。

近年、高齢者の弱みにつけこんだ詐欺事件などが社会問題化し、高齢者への虐待事件も多く発生しています。虐待は、介護をする人の人権意識や介護疲れが大きな原因となっていることから、介護者を取り巻く周囲の人の理解も重要です。

人権啓発冊子「CSRで見えてくる明るい明日」より

- 人権に関するお問い合わせ先
町教育委員会社会教育課
☎096-234-2447(内線324)